

屋内用誘導タイル エスコット

ESCOTT

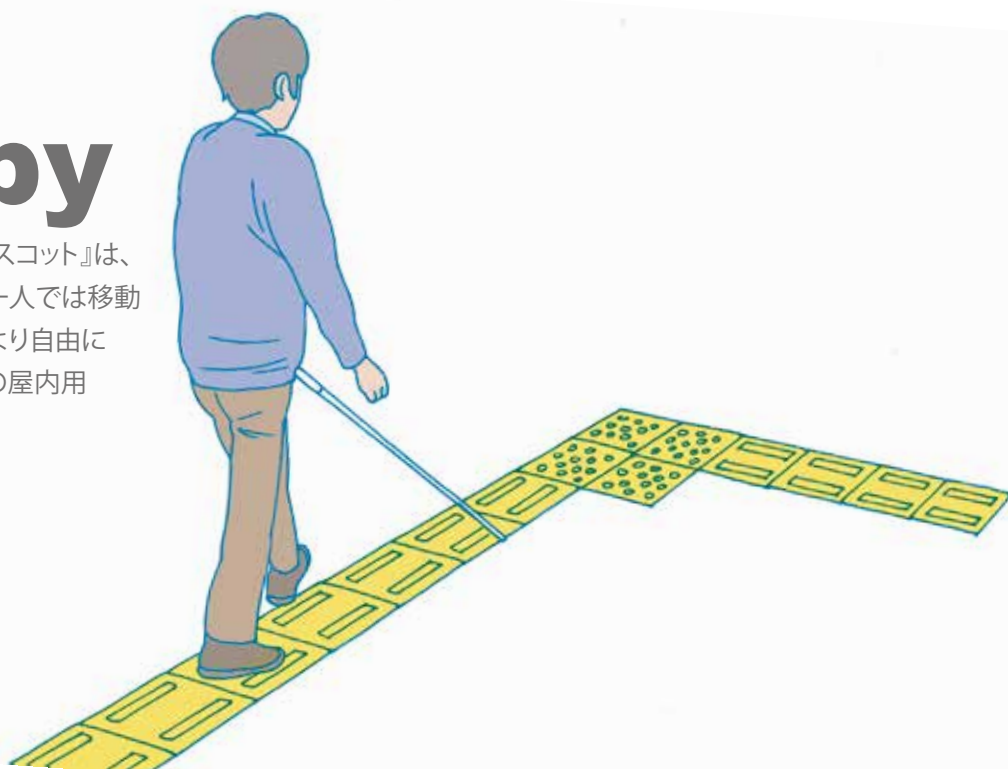


株式会社クワハタデザインオフィス

エスコットは、高齢者や車椅子・ベビーカーにやさしく、
視覚障害者の屋内誘導を実現する新型の点字ブロックです。

Happy

屋内用誘導タイル『エスコット』は、
これまで視覚障害者が一人では移動
しにくかった建物内を、より自由に
安心して移動するための屋内用
誘導設備です。



Safety

『エスコット』は、突起の高さを1.8mmに
抑え、高齢者の躓きや車椅子・ベビー
カー利用者の不具合をなくした、安全
性の高い屋内用点字ブロックです。



エスコットは、建物のデザインにマッチする洗練度と、容易に貼り付けられるユーザビリティを兼ね備えています。



Easy

屋内用誘導タイル『エスコット』は、床に直接貼り付ける点字ブロックです。従来型の点字ブロックよりも低コストで施工できます。



Design

『エスコット』は、建物のデザインにマッチするように、多彩なカラーバリエーションをご用意しています。



JIS 規格型点字ブロックは、屋内の誘導案内にはあまり使われてきませんでした。

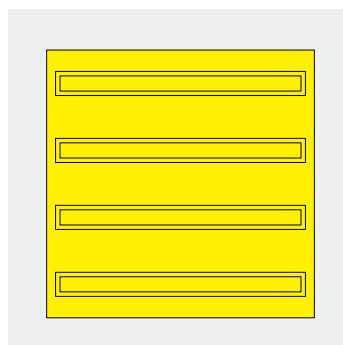
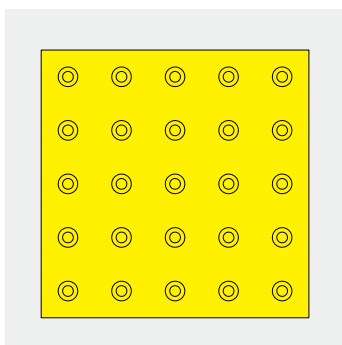
これまでの視覚障害者の屋内誘導

屋外では、視覚障害者の安全な歩行を支援するための誘導用ブロックが広く整備されています。しかし屋内空間では、ブロックの凹凸が高齢者や身体障害者等の移動に影響を与えるなどの理由で、ブロックが敷設されているケースは少ない状況です。

屋内は、視覚障害者が自由に移動できる環境になっていないために、しばしば案内者の手助けが必要でした。

視覚障害者誘導用ブロックの課題

- 視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)は、歩行した際の足裏感覚でブロックを認識できるように設計されています。
- 広く導入されている JIS 規格型点字ブロックは、多様な路面状態でも認識しやすいように、高さ 5 mm の突起で形成されています。
- 点字ブロックの凹凸が車椅子やベビーカーの走行を困難にすることや、高齢者や身体障害者等の歩行に支障となることが指摘されています。



高齢者の躓きと段差高さ

- 高齢者の歩行時の躓きと段差の高さの関係を調べた研究では、段差は 1.2mm 以下にする必要があるが、施工精度から考えると 2.4mm 以下が望ましいとされています。



エスコットは、延べ100名を超える視覚・
身体障害者との4年間の研究を経て開発されました。

点状突起形状の検知に関する研究



点状突起形状の検出に関する実験から、1 mm、2mm の突起高さでも白杖により検知可能であることが明らかになりました。また、検知しやすい突起形状・配列が確認されました。

車椅子走行時の影響調査



車椅子への突起の影響を加速度センサーを使って計測しました。JIS 型ブロックと比較して、突起の小さなブロックでは、大幅に振動が少ないことが確認されました。

線状突起形状の検知に関する研究



線状突起形状の検出に関する実験から、1 mm、2mm の突起高さでも白杖により検知可能であることが明らかになりました。また、検知しやすい線状突起の幅、本数が確認されました。

ベビーカー走行時の影響調査



ベビーカーへの突起の影響を加速度センサーを使って計測しました。JIS 型ブロックと比較して、突起の小さなブロックでは、大幅に振動が少ないことが確認されました。

経路の検知に関する研究



経路上に点状ブロックを設置し、歩行中のブロックの検知しやすさについて、JIS 型ブロックと比較しました。突起の小さなブロックでも経路を確認できることが明らかになりました。

下肢障害者の歩行時の影響調査



片麻痺患者がブロックを歩行した際の歩行様態を、三次元解析装置を用いて計測し、突起の小さなブロックの歩きやすさを確認しました。

エスコットは、どこでも簡単に設置できる、 屋内用点字ブロックです。

屋内用誘導タイル『エスコット』



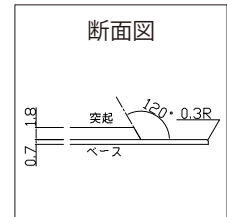
警告ブロック

数枚を横に並べて、
注意を喚起するための
ブロックです。



誘導ブロック

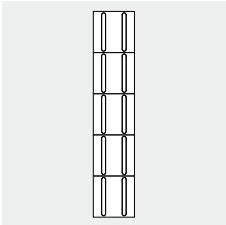
直線に並べて、
真っ直ぐ進めることを
示すブロックです。



断面突起高さは1.8 mmです。

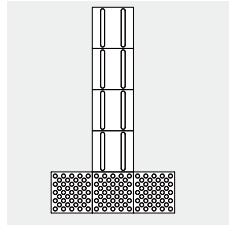
配置方法

直進の案内



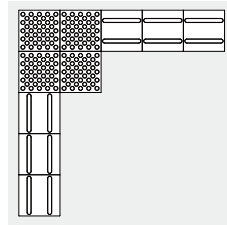
経路に沿って1列に誘
導ブロックを並べます。

目的地の案内



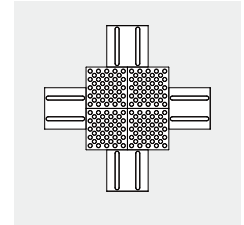
経路の端部に3枚の警
告ブロックを並べます。

屈曲部の案内



屈曲部分に4枚の警告
ブロックを並べます。

分岐部の案内



分岐部分に4枚の警告
ブロックを並べます。

取付方法

※施工は、内装施工業者にご依頼いただくことをお勧めします。



視覚障害者の屋内誘導は、 今後ますます求められるでしょう。

バリアフリー新法に対応します

エスコットは、バリアフリー新法で規定されている視覚障害者誘導用ブロックの仕様に対応した商品です。特に屋内空間の視覚障害者誘導にお使い頂けます。階段やスロープ、エスカレーター等の危険箇所には、JIS 規格型点字ブロックをお使いください。

様々な施設で ご利用いただけます

行政機関などの公共施設に

入口から総合案内まで、更にエレベーターホールや各窓口、トイレまでのご案内に「エスコット」を敷設することで視覚障害者の誘導を援助できます。他の利用者には全く負担になりません。

銀行や店舗に

銀行なら入口から窓口まで、キャッシュコーナーなら入口からキャッシュディスペンサーまで、「エスコット」の敷設をお勧めします。様々な店舗では、少なくとも利用頻度が高いと思われる場所まで「エスコット」を敷設することで視覚障害者の誘導を援助できます。他の利用者には全く負担になりませんし、台車やカート of 走行も妨げません。

病院やクリニックに

視覚障害者が入院している間、ベッドサイドからナース・ステーションやトイレまでの導線に「エスコット」をつけると、視覚障害者の移動に便利です。更に、もし全ての廊下に「エスコット」を常設したとしても、ベッドやワゴン等の移動はスムーズに行えます。

高齢者ホームやグループホーム等に

各居室の扉の前や浴室、食堂等の入口に、「エスコット」警告ブロックを貼り付けていただけます。また、視覚障害者が入居中に使用する下駄箱やロッカーの真下に、同種のタイルを貼り付けることもおすすめです。

ホテルや旅館に

玄関ホールから受付まで、受付からエレベーターホールまでなど、「エスコット」によって視覚障害のある宿泊客を目的の場所に誘導することができます。客室入口、非常口やエレベーターの扉の前等には、「エスコット」警告ブロックの設置が有効です。

エスコットは、視覚障害者が屋内をもっと自由に歩くための支援を
するとともに、全ての人に安全で快適な屋内生活をご提供します。

製品仕様

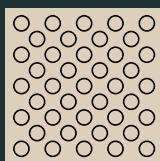
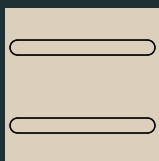


警告ブロック
素材:ウレタン
寸法:300mm×300mm
厚さ:2.4mm (突起高さ1.8mm)
両面テープ付き

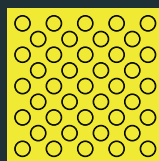
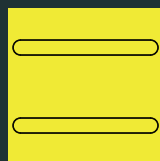


誘導ブロック
素材:ウレタン
寸法:300mm×300mm
厚さ:2.4mm (突起高さ1.8mm)
両面テープ付き

カラーバリエーション



アイボリー（標準色）



イエロー（標準色）

※ご指定の色で製作可能です。（1ロット500枚以上で対応）

開発者

医療福祉デザイナー 桑波田 謙

医療・福祉・公共施設を中心に、多くのユニバーサルデザイン空間を実現してきました。

賞歴

「お茶の水・井上眼科クリニック」第40回SDA賞招待審査員賞受賞

「井上眼科病院」第3回JFMA賞優秀ファシリティマネジメント賞受賞

「千代田区役所」第41回SDA賞入選

株式会社クワハタデザインオフィス

〒231-0002

神奈川県横浜市中区海岸通4-22-406

電話:045-306-5106 FA X:045-306-5107